

安全運転

ほっとNEWS



平成19年10月号

今月のデータ

520件

平成18年中に発生した交通事故のうち、第1当事者による最高速度違反が原因で発生した死亡事故の件数です。これは、全体の約9.2%に相当します。

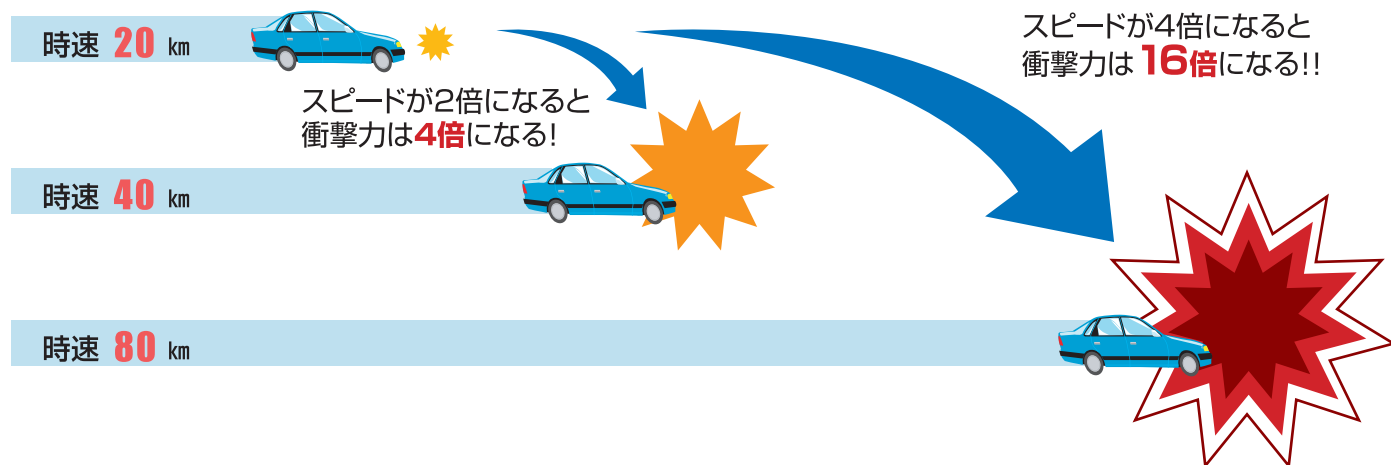


スピードの出しすぎは 重大事故を招く！

スピードを上げるほど増大する衝撃力

下図は、車が（堅い構造物に）衝突したときのエネルギー比率をあらわしています。乗員に与える衝撃力は、スピードが上がるほど飛躍的に大きくなることがわかります。

スピードの出しすぎによる事故の多くが、死亡事故や重大事故につながる理由は、このような衝撃力の大きさによるのです。



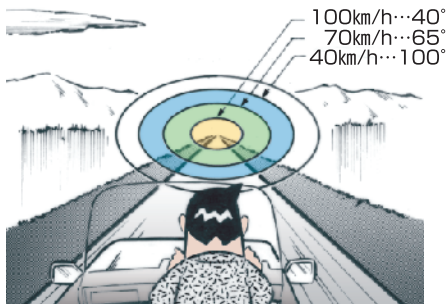
若年層に多い最高速度違反による死亡事故



「今月のデータ」にあるように、交通死亡事故のうち500件以上はスピードの出しすぎが原因となっていますが、これを年齢層別に見てみると、最高速度違反による死亡事故の約46%は20代までの若年者が起こした事故でした。これは、運転技術が未熟であることと、スリルや興奮を求める気持ちが強いことなどが原因として考えられます。

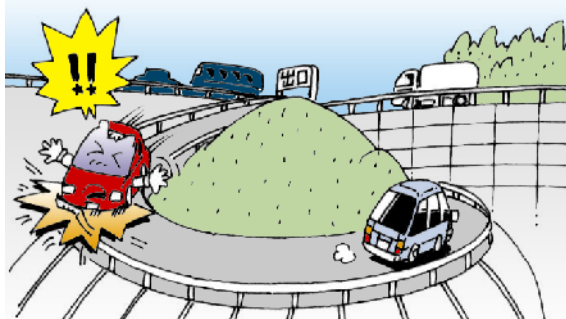
視野の広さはこんなに違う!

止まっている状態では、人間は約200°の視野がありますが、車などに乗り、スピードが増すほど視野は狭くなり前方中心付近に限られます。不用意にスピードを上げて走行していると、横からの歩行者などの飛出しに気づかずに衝突する危険が高まります。



こんな場所は要注意!

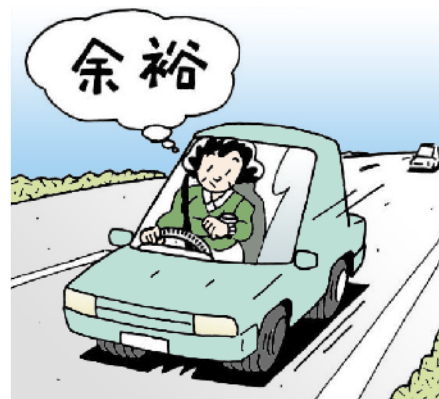
高速走行を続けると、人間のスピード感覚は鈍りがちです。そのため、速度を落とした“つもり”でも実際は減速が不十分で、事故を起こすことになります。ランプウェイ走行時などは、自分の感覚に頼らず、スピードメーターを必ず確認するようにしましょう。



スピードを必要以上に出さない運転に徹する

車の性能や自分の運転技術を過信せず、以下のことを心がけて、スピードを控えた運転に徹しましょう。

- ★運転するときは時間に余裕を持って出発する
- ★速いと感じる車の流れには無理に合わせない
- ★薄暮・夜間の走行はスピードを緩めて慎重に



ここが変わった! 法改正 ②

●《道交法》救護義務違反(ひき逃げ)に対する罰則強化 (平成19年9月19日施行)

近年、ひき逃げ事件の発生件数が増加傾向にあります。運転者が被害者に対する救護を怠り、悲惨な結果にいたる事案が後を絶たないことから、抑止を図るために罰則が強化されました。

5年

以下の懲役

または

50万円

以下の罰金

10年

以下の懲役

または

100万円

以下の罰金

飲酒運転事故でひき逃げ ➡ 併合罪で最高15年の懲役

飲酒運転事故でひき逃げした場合、併合罪が適用され、改正後は最高15年の懲役になります。

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO., LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

担当営業課